

1年 算数科学習指導略案

岸和田市立城東小学校
指導者 綾井 奈美
令和8年9月30日
第5時限 13:40～14:25
場 所 図 工 室

1. 単元名

「どちらがおおい」

(使用図書は、教科書：新編あたらしいさんすうⅠ② 東京書籍 P.55～P.58)

2. 単元のねらい

本単元は、身の回りにあるものの量に着目し、入れ物に入る水の体積の比べ方を考え、理解することを目的としている。体積を直接比較、間接比較の方法で比べたり、コップなどを任意単位として用いて体積を数値化して表したりする力を育成するために、「かさくらベクイズ」の「せいかいカード」をつくる活動を設定した。

本学級の児童はこれまでに、「どちらがながい」の学習で任意単位による比較方法を経験している。指導者が提示した「ながさくらベクイズ」では、積極的に意見交換しながら楽しんで取り組む姿が見られた。本単元においても、既習事項を想起させながら主体的に取り組むことができるようにしたい。

単元末には、「かさくらベクイズ」をつかって2年生を対象にしたクイズ大会を行う。1年生同士で「せいかいカード」の改良や説明の練習を重ねられるようにすることで、体積についての感覚を豊かにさせていきたい。

3. 単元の指導計画(全5時間)

時	学習活動
1	・直接比較の方法(「まるうつしさくせん」)で体積を比べる。 ・間接比較の方法(「おたすけマンさくせん」)で体積を比べる。
2	・水の体積を数で比べる方法を考える。 ・容器に入っている水の体積を、コップを単位として「いくつ分」で表す。 (「ぷっちょさくせん」)
3 本時	・直接比較の方法、間接比較の方法、任意単位による比較の方法で、いろいろな入れ物に入る水の体積を比べる。 ・かさくらベクイズの「せいかいカード」をつくる。
4	・「せいかいカード」で用いた比較の方法を説明する。 ・「せいかいカード」の内容を確かめる。

5	・かさくらベクイズ大会をする。 ・学習の振り返りをする。
---	---

4. 本時について

(1) 目標

水の体積の直接比較や間接比較、任意単位による比較についての理解を深める。

(2) 判断基準

S(十分に満足できる)	A(満足できる)	B(努力を要する)
2通り以上の比較方法を説明することができる。	1通りの比較方法を説明することができる。	比較することができていない。 →比較の仕方を伝える。 →他のグループが操作している姿や、共有ノート上の「せいかいカード」を見るように声掛けをし、他者参照を促す。

(3) 本時の情報活用能力のねらいについて

- ・水を移し替えたり、入っている水の高さを比べたりする。【情報収集】
- ・タブレットを使って、正解の理由がわかる動画や写真を撮る。【整理分析】

(4) 学習の手引き

【めあて】

「かさくらベクイズ」の「せいかいカード」をつくろう

S: 「せいかいカード」を 1まいよりおおく つくることが できる。

A: 「せいかいカード」を 1まい つくることが できる。

かだいをきめる

どのさくせんを つかおうかな

じょうほうをあつめる

どちらが おおく はいるかな？

せいり・まとめる

おおくはいると かんがえたりゆうが わかる しゃしんや どうがを とる。

わかりやすくつたえる

おおくはいると かんがえたりゆうを せつめいする。(「せいかいカード」)

(5) 学習過程

時	学習活動	主な発問(○)と 予想される児童の反応(●)
5分	本時の学習課題を確認する。	○かさくらベクイズの「せいかいカード」をつくりましょう。
30分	「せいかいカード」をつくる。	かさをくらべる ●なの水をににまるうつししてみよう。 ●同じコップが3つあるから「おたすけマンさくせん」ができそう。 ●ぬから「ぷっちょさくせん」してみよう。 写真・動画を撮る ●水をまるうつしする前と後の写真を撮ろう。 ●おたすけマンを3つ並べた写真を撮ろう。 ●コップいくつ分かを説明している動画を撮ろう。 ○友だちの「せいかいカード」を見てみましょう。 ●動画で説明する方法を真似してみよう。 ●言葉を写真に書き込んでみよう。
5分	学習のふりかえりを発表する。	○今日の学習でどんなことがわかりましたか。 ●3つを「まるうつしさくせん」で比べると時間がかかった。 ●「ぷっちょさくせん」を使うと比べやすかった。 ●ぬがコップ2杯分多かった。 ●見た目ではわからなかったけど、水をうつして比べるとわかった。
5分	次時の見通しをもつ。	○次の時間はかさくらベクイズ大会の練習をしましょう。